

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2003-144683(P2003-144683A)

【公開日】平成15年5月20日(2003.5.20)

【出願番号】特願2001-349398(P2001-349398)

【国際特許分類第7版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月2日(2004.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の識別情報を可変表示可能な可変表示装置を含み、該可変表示装置の表示結果が予め定められた特定表示態様となった場合に遊技者にとって有利な特定遊技状態になるようにした遊技機において、

普通図柄始動条件の成立に基づいて識別情報を変動表示可能な普通図柄表示装置と、該普通図柄表示装置に識別情報を変動表示させて停止させる普通図柄表示制御手段とを備え、

前記普通図柄表示制御手段は、前記特定遊技状態になることが決定されると、前記普通図柄表示装置に特殊な識別情報を停止表示させる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記可変表示装置の表示結果を予め決定する遊技制御手段と、前記普通図柄表示装置の表示結果を予め決定する普通図柄決定手段とを有し、

前記遊技制御手段が前記可変表示装置の表示結果が前記特定表示態様になるよう予め決定すると、前記普通図柄決定手段は前記普通図柄表示装置に特殊な識別情報を停止表示させるべく決定する

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記遊技制御手段は前記普通図柄決定手段を含んでいる

ことを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記普通図柄表示制御手段は前記普通図柄決定手段を含んでいる

ことを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項5】

前記遊技制御手段は、前記普通図柄表示装置に特殊な識別情報を停止表示させる場合に、前記特定表示態様になる可能性を有するリーチ状態を前記可変表示装置に表示させるリーチ状態表示制御手段を含んでいる

ことを特徴とする請求項1、2、3に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

[2]前記可変表示装置(310)の表示結果を予め決定する遊技制御手段(100)と、前記普通図柄表示装置(140)の表示結果を予め決定する普通図柄決定手段とを有し、

前記遊技制御手段(100)が前記可変表示装置(310)の表示結果が前記特定表示態様になるよう予め決定すると、前記普通図柄決定手段は前記普通図柄表示装置(140)に特殊な識別情報を停止表示させるべく決定する

ことを特徴とする[1]に記載の遊技機。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

[3]前記遊技制御手段(100)は前記普通図柄決定手段を含んでいる
ことを特徴とする[2]に記載の遊技機。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

[4]前記普通図柄表示制御手段は前記普通図柄決定手段を含んでいる
ことを特徴とする[2]に記載の遊技機。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

[5]前記遊技制御手段(100)は、前記普通図柄表示装置(140)に特殊な識別情報を停止表示させる場合に、前記特定表示態様になる可能性を有するリーチ状態を前記可変表示装置(310)に表示させるリーチ状態表示制御手段を含んでいる
ことを特徴とする[1]、[2]、[3]に記載の遊技機。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】